

学年	科	コース	教科	単位数	担当者
1	全科		書道 I	2	前田・安岡
担当者(担当クラス)		安岡 1組2組3組	前田 5組6組7組		
この科目を履修するための条件や準備					
・小・中学校国語科書写の学習を基礎としながら、書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てる。					
この科目のねらい 目標					
・書に親しむ活動を通して、感性を高め、書写能力の向上を図り、自己を主体的に表現するための書道の基礎的な能力を伸ばしていく。					
具体的な指導方法					
・「漢字仮名交じりの書」の学習では、身近にある題材や自らの思いや感動を表す語句を選び、調和した線質や全体構成を工夫し、名筆を生かすことで意図に基づいた表現をする。					
使用教材					
使用する教科書			使用する副読本		
教育図書 [書 I 302]					
評価方法					
学習活動への参加状況や態度 臨書清書の記録ファイル 記録ファイルの整理状況 篆刻実習記録成果物(篆刻作品等)					
年間授業計画					
I. 1学期中間考査まで					
①書へのいざない 1.書道の学習 2.姿勢・執筆法を身につけよう 3.用具・用材を*筆・墨・硯・紙について 4.調和よく書いてみよう 5.表現の幅を広げよう					
②漢字の書の学習 □漢字の書の世界へ					
1.古典に学ぼう→4、5月の自宅課題と1学期末考査後の補充授業で対応する。					
II. 1学期期末考査まで					
2-1.行書の古典に学ぼう					
◇書聖王羲之(書と人)					
III. 2学期中間考査まで					
3.篆刻を学ぼう*落款と雅印					
2-2行書の古典に学ぼう					
◇三筆・三跡(書と人)					
IV. 2学期期末考査まで					
4.楷書の古典に学ぼう					
実用の書					
硬筆書写技能検定4級受験					
V. 学年末考査まで					
③仮名の書の学習					
④漢字仮名交じりの書の学習 □漢字仮名交じりの書の世界へ 1.創作しよう 2.自分らしい表現を求めて 3.構成を工夫しよう*思いとことばをつむぐ「書」					